

## 食べ物だけじゃないフランスのBIOな製品



アンサンブル講師Ayakoさんも「[注目を集めるバイオ食品Produits Biologiques](#)」で書いていらっしゃいましたが、昨今のフランスでのBIO製品の拡がりには、驚くものがあります。

「オーガニック」食品がフランスで広く売られだしたのは、90年代ごろでした。当時は、まだBIOという言葉自体がマイナーなもので、ごく一部の意識の高い人だけが愛用している雰囲気がありました。値段もかなり高めだったように記憶しています。

## BIOブーム到来

---

その後、しばらく留守にしたフランスに2010年代になって戻ると、普通のスーパーのBIOコーナーが以前の数倍の広さを占め、BIO専門店も複数生まれているではありませんか。なにより、BIO製品を愛用する人がぐんと増えました。



またBIO製品のイメージ自体も変化したようで、今ではどちらかというと、おしゃれな生活に付きもの、というような捉えた方をする人も多くなったようです。実際、今では食べ物だけでなく、生活にかかわる様々な製品がラインアップされています。

## 石鹸もBIO

例えば、最近私の目を引いたのが、子供向けのオーガニック石鹸、[Enfance Paris \(アンファンス・パリ\)](#)。二児の母であるAgnès Laffourcade (アニエス・ラフルキャド) さんが作りだしたブランドで、フランス初の子供向けナチュラル石鹸です。



\*©Enfance Paris

赤ん坊時代からティーンエイジャーまでの子供たちの敏感な肌は、それぞれに必要とされるケアが異なるという観点から、年齢別に作られています。

当然ながら、化学物質やアルコール、パラベン、保存料、パラフィン、着色料はいずれもゼロ。カリテ（シアバター）を原材料に、年齢によって異なるオイルを加えて作ってあります。

- 0 - 3歳は、“安らぎのラベンダー” オイル。
- 3 - 8歳は、“清めのローズマリー” オイル。
- 8 - 12歳は、“蘇りのペパーミント” オイルといった具合。



\* ©Enfance Paris

子供でも使いやすいようにすべて紐付き石鹸となっていて、フランス人デザイナー [Etienne Bardelli \(エティエンヌ・バルデリ\)](#) のデザインによる素敵な小箱入りです。子供じゃなくても、使ってみたくなる石鹸ですね。インターネットショップでは日本への発送も可能だそうです。

## あとがき

最近、大気汚染などが問題となっているフランス。それを受けて、人々の「健康」「環境」意識は、ますます高まるでしょうから、フランスのBIO製品ブームも、まだまだ盛り上がると思われます。今後も要チェックですね



執筆：ゆき

オンラインフランス語学校  
**ENSEMBLE EN FRANÇAIS**  
アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

